

学校法人 兵庫医科大学
平成 26 年度 事業報告

I. 法人の概要

1. 沿革 (平成 24 年度～26 年度の 3 年間の抜粋)

平成 24 年	11 月	兵庫医療大学大学院薬学研究科設置認可
	11 月	学校法人兵庫医科大学中医薬孔子学院設立
	11 月	兵庫医科大学 アメリカ合衆国カリフォルニア大学サンディエゴ校と学術交流に関する基本合意書を締結
	12 月	兵庫医科大学病院 急性医療総合センター完成 (開学 40 周年記念事業)
平成 25 年	3 月	兵庫医科大学 大学基準協会の認証評価により、大学基準適合の認定
	5 月	兵庫医科大学 ブルガリア共和国ソフィア医科大学との学術交流に関する協定を締結
	12 月	兵庫医科大学ささやま医療センター 日本医療機能評価機構より病院機能評価 (3rdG : Ver. 1.0 一般病院 1) の認定
平成 26 年	3 月	兵庫医科大学 オーストラリア連邦アデレード大学と学術交流に関する基本合意書を締結
	4 月	兵庫医科大学 研究医養成枠として 2 名増員し、入学定員は 112 名となる。
平成 27 年	3 月	兵庫医科大学 健康医学クリニック完成

2. 設置する学校・学部・学科等 (平成 26 年 4 月 1 日現在)

(単位：人)

学 校 名	学部・学科等名	入学定員	平成 26 年度 入学者数	収容定員	現 員
兵庫医科大学 (学長：中西憲司) 昭和 47 年 4 月開学	大学院 医学研究科	60	50	240	188
	医学部 医学科	112	112	662	688
兵庫医療大学 (学長：馬場明道) 平成 19 年 4 月開学	大学院 薬学研究科	3	2	6	5
	大学院 看護学研究科	8	8	16	18
	大学院 医療科学研究科	8	9	16	18
	薬学部 医療薬学科	150	159	900	940
	看護学部 看護学科	100	103	400	419
	リハビリテーション学部 理学療法学科	40	45	160	179
	リハビリテーション学部 作業療法学科	40	48	160	195

3. キャンパスの所在地

学校法人兵庫医科大学

西宮キャンパス 兵庫県西宮市武庫川町1番1号（〒663-8501）

兵庫医科大学 医学部 医学科
大学院 医学研究科
兵庫医科大学病院

篠山キャンパス 兵庫県篠山市黒岡5番地（〒669-2321）

兵庫医科大学 ささやま医療センター
兵庫県篠山市黒岡36番地（〒669-2321）
兵庫医科大学 ささやま老人保健施設
ささやま居宅介護支援事業所

神戸キャンパス 兵庫県神戸市中央区港島1丁目3番6（〒650-8530）

兵庫医療大学 薬学部 医療薬学科
看護学部 看護学科
リハビリテーション学部 理学療法学科
作業療法学科
大学院 薬学研究科
大学院 看護学研究科
大学院 医療科学研究科

4. 役員・評議員・教職員の概要

(1) 役員（平成27年3月31日現在）

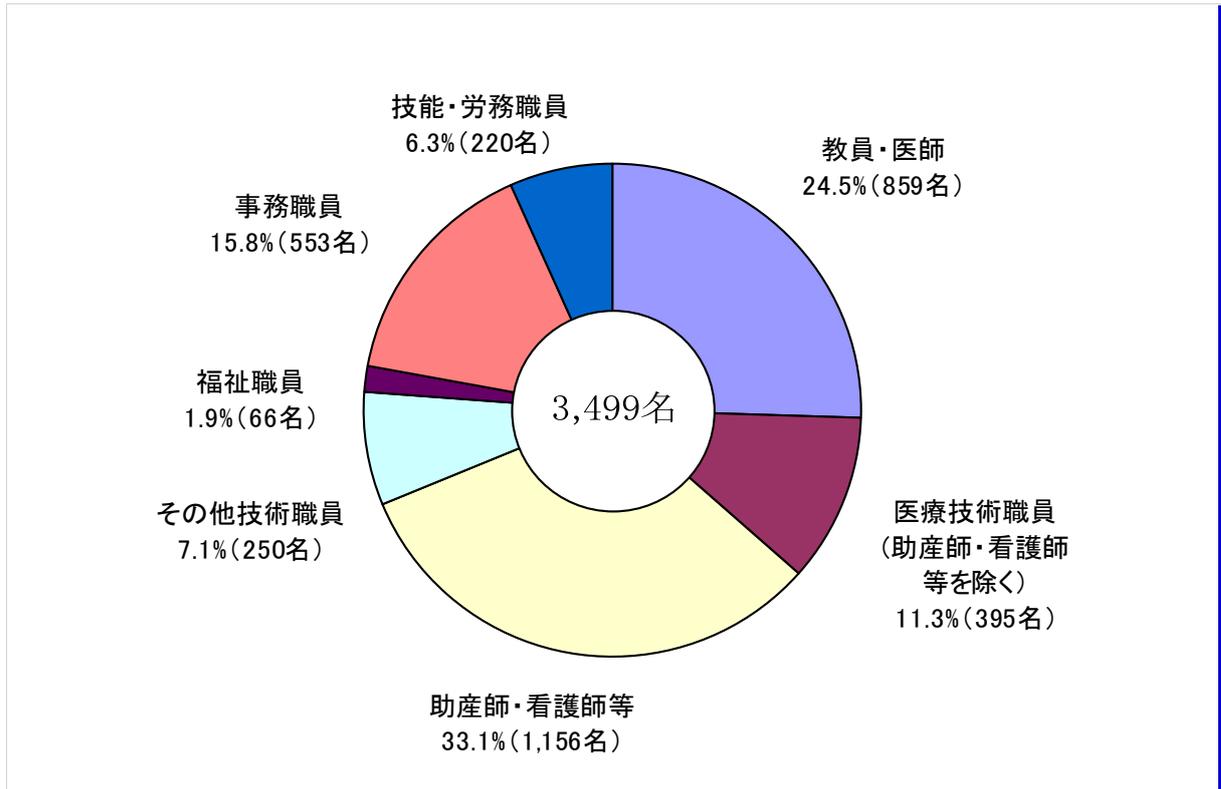
理事【定員 17～19名・現員 17名】（常勤 12名、非常勤 5名）

監事【定員 2～3名・現員 3名】（常勤 1名、非常勤 2名）

(2) 評議員（平成27年3月31日現在）

【定員 38～42名・現員 38名】

5. 教職員数（職種別：平成 27 年 3 月 31 日現在）



II. 事業の概要

《法人》

- 第2次中期事業計画に基づく年次事業計画の策定・進捗管理
 - ・第2次中期事業計画および法人の将来計画である西宮キャンパスグランドデザイン等に基づき、平成27年度事業計画の個別事業の策定を行なった。
 - ・平成26年度事業計画については、月次の進捗状況をメールで確認するとともに、上半期、年度末の進捗確認を書面で実施し、理事会に報告した。
- 業務改善推進制度の創設、教職員提案制度の見直し
 - ・教職員の業務改善活動を奨励するために、教職員から改善の提案を募集するとともに、改善の内容を広く周知し、優秀な改善を表彰する制度を創設した。
 - また、教職員提案制度についても見直しを行い、優秀な提案を表彰する等の制度変更を実施した。
- 事務局管理職会議、経営分析セミナー等の実施
 - ・平成26年6月27日（金）に事務局の管理職全員を対象とした研修を実施し、各部（課）の重要課題と取り組み内容について、情報を共有した。
 - また、慶應義塾大学信濃町キャンパス事務長（元東京大学理事）の上杉道世氏を講師に招き、「これからの大学経営と大学職員」のテーマで講演会を開催した。

- ・平成27年2月3日（火）に日本私立学校振興・共済事業団私学経営情報センター経営支援室より講師を招き、理事、関係事務職員対象に人件費等の経営課題についてのセミナーを実施した。

○ 広報室関係（平成26年度の新たな取り組み）

平成26年度は、中期事業計画で目標としている「法人としてめざす姿」を踏まえ、本法人の広報活動の目標やあり方を再定義するために過去の課題分析を行った上で、平成26年9月、中長期的視点からの「広報ビジョン」（めざすべきブランドイメージ等）と、それを実現するための「広報戦略」（基本方針+3つの重点テーマ）を新たに策定した。また、下半期以降は策定した広報戦略に則り、新たに以下のような取り組みを行った。

◆「チーム広報推進メンバー」の配置

広報戦略の基本方針として掲げた“チーム広報”の実現に向け、3キャンパスの各部門に「チーム広報推進メンバー」を配置し、学内情報の収集強化に向けた基盤作りを行った。活動においては「一体感&団結力の醸成」（重点テーマ①）を意識し、メンバーから情報をもらうだけでなく、広報課からもメンバーに対して毎日情報提供を行うなど、コミュニケーションを深めながら法人内での情報交換を活性化させている。

◆「ステイクホルダーの声」の収集強化

「戦略的な情報収集」（重点テーマ③）の一環として、昨今のインターネット時代を踏まえてより広くステイクホルダーの意見に耳を傾けるため、平成26年9月より、従来実施していた新聞記事からの情報収集に加え、ブログやSNSなど、インターネット上に流れている情報のタイムリーな収集・分析を開始した。集めた声は、経営や各業務を行う上での貴重な参考情報にしてもらえるよう、経営陣や管理職をはじめ、各部門のチーム広報推進メンバーに迅速に情報発信し、共有している。

◆他企業とのアライアンスによる地域貢献活動およびPR

「戦略型広報体制への転換」（重点テーマ②）をめざし、攻めの広報を実現すべく、平成26年9月より、阪神電気鉄道株式会社（本社：大阪市福島区）と定例会合をスタートさせ、「阪神地域の人々に楽しさと安心を！」をコンセプトにした地域貢献アライアンス施策の企画・検討を行った。第1弾の施策として、平成27年3月16日、阪神甲子園駅前にあるタイガースフィットネスクラブ ラフィットにて「阪神沿線健康講座」を開催。健康医学クリニックの大柳名誉教授が講師を務めた本イベントは参加者にも好評で、新聞やケーブルテレビでも紹介されたことから、平成27年4月1日に開院する同クリニックのPRにもつながった。

○ 法人として求める人材像及び人材育成方針等を策定

法人として求める人材像及び人材育成方針を策定し、6月17日開催の常務会に付議し承認を得、3キャンパスの各教職員に周知を行った。また、これを受け、各職種（部門）毎の人材育成方針等を策定したので、学内ネットで公開している。法人としての求める人材像等については、本法人ホームページでも公開している。

○ 人事考課制度の見直し

人事考課制度について、職員からの意見や課題を集約し、評価項目や運用の見直しを行った。特にメディカルスタッフ部門については、各職種の責任者とヒアリングを行い、さらにシンクタンクのアドバイスも得、評価方法・評価項目等について見直しを進め、人事考課調整委員会で承認後、平成27年1月常務会で内容に関して報告を行った。これにより、平成27年度から、事務局正職員、コメディカル(看護師除く)正職員、実験補助・技術員の正職員を対象として、新たな人事考課制度を導入することとした。しかし、看護師については、本学で人事考課制度とラダー教育制度を別々に実施していることに関して、さらに1年かけて独自に見直しを行うこととした。新人事考課制度の内容は、人事考課研修会で説明を行ない、平成27年3月には3キャンパス個別に全体説明会を複数回開催し周知を行った。

○ 兵庫医科大学保健管理センターの開設

兵庫医科大学保健管理センターを平成26年8月に開設し、大学部門・法人部門・病院部門で実施していた保健衛生等に関する管理業務を1本化した。これにより、教職員健康診断後のフォロー等教職員・学生の健康管理の啓発を含め西宮キャンパス教職員・学生の保健衛生管理の強化を図っている。

○ 補助金

平成26年度 私立大学等経常費補助金について、下表のとおりの概算交付があった。

(金額単位：千円)

	一般補助	特別補助	合計
兵庫医科大学	1,492,420	215,527	1,707,947
兵庫医療大学	392,945	10,970	403,915
合計	1,885,365	226,497	2,111,862

○ 学校法人兵庫医科大学基金

平成26年4月1日から平成27年3月31日までの申込み実績は次の通り。

受配者指定寄付金		特定公益増進法人		合計	
件数 (件)	金額 (円)	件数 (件)	金額 (円)	件数 (件)	金額 (円)
31	13,200,000	276	22,825,000	307	36,025,000

(平成20年度開始からの累計申込み実績)

受配者指定寄付金： 276件 58,055,000円

特定公益増進法人： 959件 72,910,498円

合計： 1,235件 130,965,498円

○ 兵庫医科大学開学 40 周年記念事業募金

平成 26 年 4 月 1 日から平成 27 年 3 月 31 日までの申込み実績は次の通り。

受配者指定寄付金		特定公益増進法人		合 計	
件数 (件)	金額 (円)	件数 (件)	金額 (円)	件数 (件)	金額 (円)
12	12,300,000	50	9,839,837	62	22,139,837

(平成 20 年度開始からの累計申込み実績)

受配者指定寄付金 : 186 件 937,935,000 円

特定公益増進法人 : 477 件 297,069,905 円

合 計 : 663 件 1,235,004,905 円

○ 男女共同参画事業

本法人は、第 2 次中期事業計画の人材マネジメント領域として、男女共同参画推進のための整備を目的として、平成 26 年 5 月 8 日付で「学校法人兵庫医科大学 男女共同参画推進体制に関する規程」を制定した。本規程に基づき、平成 26 年 6 月 9 日に、兵庫医科大学長及び兵庫医療大学長をトップとする男女共同参画推進本部を設立した。推進本部は、本法人における男女共同参画推進のための基本理念・基本方針を策定し、平成 26 年 10 月 1 日付で学内・外に対して『学校法人兵庫医科大学 男女共同参画に関する宣言』を公開した。

<男女共同参画基本理念>

男女が互いにその人権を尊重しつつ責任を分かち合い、性別にかかわらずその個性と能力を十分に発揮することが出来る男女共同参画社会の実現が、男女共同参画社会基本法において二十一世紀のわが国社会を決定する最重要課題と位置付けられている。

一方、高等教育機関である大学は、人類の福利と平和に貢献しつつ、積極的に性差の社会的な偏りを是正し、男女共同参画社会の形成に寄与する任を負っている。

学校法人兵庫医科大学は、建学の精神に則り、男女が対等な構成員として、教育、研究、診療、社会貢献及び大学運営を行うことにより、男女共同参画社会の実現に貢献する。

<男女共同参画基本方針>

1. ポジティブ・アクションの推進
2. 大学運営における意思決定への女性の参画拡大
3. ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の確立について
4. 性差別のない環境の構築
5. 男女共同参画に関する意識改革のための教育、広報・啓発活動
6. 男女共同参画に関する取組みの地域社会との連携、および国際社会との連携

推進本部が策定した基本理念・基本方針に基づき、その実行組織として平成 26 年 9 月 2 日に男女共同参画推進室を設置した。推進室は、学内の様々な意見等を集約するかたちで具体的な中・長期的な実行計画案を策定し、同事業を進めるべく現在検討を行っている。

《兵庫医科大学》

○ 平成 27 年度医学部入学試験

平成 27 年度の学生募集は、入学定員 112 名とし、一般公募制推薦入試、地域指定制推薦入試、一般入試及び大学入試センター試験利用入試の入学試験を実施し、今年度からセンター試験利用入試後期日程を導入した。

1) 推薦入学試験

区分	一般公募	地域指定	特別選抜
出願者	87 名	45 名	1 名
合格者	15 名	5 名	1 名

2) 一般入学試験

区 分	人 数
出 願 者	1,989 名
第 1 次試験合格者	377 名
第 2 次試験合格者	75 名
補 欠 者	252 名

3) 大学入試センター試験利用入学試験（前期）

区 分	人 数
出 願 者	811 名
第 1 次試験合格者	264 名
第 2 次試験合格者	30 名
補 欠 者	73 名

4) 大学入試センター試験利用入学試験（後期）

区 分	人 数
出 願 者	28 名
第 1 次試験合格者	11 名
第 2 次試験合格者	5 名
補 欠 者	1 名

5) 入学者

区 分		人 数
入 学 者	一般公募制推薦入試	15名
	地域指定制推薦入試	5名
	特別選抜推薦入試	1名
	一般入試	74名
	センター試験利用入試（前期）	14名
	センター試験利用入試（後期）	3名
	合 計	112名

○ 医学部入学定員増員（研究医）

平成 26 年度より、医学部入学定員増員（研究医養成枠）が文部科学省から認められたことにより、平成 26 年度入学定員は、110 名から 112 名に変更された。

研究医コースは、第 3 学年次を対象とした「研究の基礎を身に付ける研究医プレコース」と第 4～第 6 学年次を対象とする「テーマを持って研究する研究医専門コース」からなるものであり、平成 27 年度からの本格実施に向けて、関連規程やカリキュラムの整備を行った。

○ 平成 27 年度大学院入学試験

入学試験は、前期募集については平成 26 年 9 月 12 日（金）に、後期募集については平成 27 年 2 月 13 日（金）に、外国語試験及び口述試験（面接）が実施され、合格者の発表は平成 26 年 10 月 3 日（金）及び平成 27 年 3 月 13 日（金）に行われた。

1) 前期募集

区分	人数	内 訳							
		医 科 学 専 攻					先 端 医 学 専 攻		
		器官・代謝 制御系	高次神経 制御系	生体応答 制御系	生体再生 制御系	環境病態 制御系	分子病態 制御系	疼痛情報 制御系	分子再生 医学系
出願者	7	4	2	1	0	0	0	0	0
受験者	7	4	2	1	0	0	0	0	0
合格者	7	4	2	1	0	0	0	0	0
入学者	7	4	2	1	0	0	0	0	0

2) 後期募集

区分	人数	内 訳							
		医 科 学 専 攻					先 端 医 学 専 攻		
		器官・代謝 制御系	高次神経 制御系	生体応答 制御系	生体再生 制御系	環境病態 制御系	分子病態 制御系	疼痛情報 制御系	分子再生 医学系
出願者	37	17	10	4	0	6	0	0	0
受験者	36	16	10	4	0	6	0	0	0
合格者	36	16	10	4	0	6	0	0	0
入学者	36	16	10	4	0	6	0	0	0

○ 医師国家試験

第 109 回医師国家試験

1) 本学の状況

新 卒			既 卒			計		
受験者	合格者	合格率	受験者	合格者	合格率	受験者	合格者	合格率
101	99	98.0	5	4	80.0	106	103	97.2

2) 全国状況（合格率）

私立・全国別	新卒・既卒別		計
	新 卒	既 卒	
私立平均	94.0	60.3	90.6
全国平均	94.5	57.0	91.2

○ 国際交流

(1) 中華人民共和国汕頭大学医学院との学術交流に関する協定に基づき、本学における受け入れおよび汕頭大学医学院への派遣を実施した。本学では、汕頭大学医学院学生を 3 名受け入れ、病理学分子病理部門、小児科、消化管科、産科婦人科、生化学、上部消化管外科において、平成 26 年 7 月 14 日（月）から 8 月 8 日（金）までの受け入れ期間中、各 2 週間ずつ計 4 週間の研修を行った。また、汕頭大学医学院では、平成 27 年 1 月 10 日（土）から 1 月 17 日（土）までの 8 日間、李嘉誠財団の支援を受け、本学医学部第 2 学年次学生 9 名が汕頭大学第一附属病院、第二附属病院を訪問し、精神病センター、口唇口蓋裂センター、婦人科の見学や、ホスピス医の訪問診療への同行、農村貧困地域の医療ボランティアに参加した。

(2) 中華人民共和国天津医科大学との学術交流に関する協定に基づき、平成 26 年 11 月 14 日（土）天津医科大学主催の第 8 回国際学術交流シンポジウムに、本学泌尿器科の兼松准教授が出席し、講演を行った。

(3) クロアチア共和国リエカ大学医学部との交換留学

クロアチア共和国リエカ大学医学部との学術交流に関する協定により、本学との大学間交換留学を実施した。

本学では、平成 26 年 8 月 25 日（月）から 9 月 19 日（金）までの 4 週間、脳神経外科、血液内科、小児科においてリエカ大学学生を各科に 1 名ずつ、計 3 名受け入れた。また、リエカ大学では、平成 26 年 9 月 22 日（月）から 10 月 17 日（金）までの 4 週間、本学医学部第 5 学年次学生 3 名を呼吸器内科、消化器内科、整形外科、産科婦人科において受入れていただき、4 週間の病棟研修を行った。

(4) 米国・各大学間における学術交流

本学第 6 学年次学生が 4 週間の短期臨床研修として、アメリカ合衆国・コロンビア大学の循環器内科に 1 名が平成 26 年 4 月 7 日（月）から 5 月 2 日（金）までの 4 週間、カリフォルニア大学サンディエゴ校の血液内科に 1 名が平成 26 年 4 月 28 日（月）から

5月23日（金）までの4週間、またワシントン大学の小児科に1名が平成26年5月12日（月）から6月6日（金）までの4週間、さらに、ニュージャージー州・ロバートウッド・ジョンソンメディカルスクールの消化器内科および家庭医療にて2名が平成26年4月7日（月）から5月2日（金）までの4週間、病棟実習を行った。

また、ワシントン大学医学部では、平成26年8月9日（土）から8月16日（土）までの8日間、社会福祉法人枚方療育園の支援を受け、本学第5学年次学生8名が生命倫理の講義や病院見学に参加した。

(5) 学外プログラムにおける留学

本学第6学年次学生1名が個人応募にてイギリス・ニューカッスル大学の総合内科にて受け入れを承認され、平成26年5月12日（月）から6月6日（金）までの4週間、病棟実習を行った。

○ 補助金

(1) 平成26年度科学研究費助成事業（文部科学省）

研究種目名	件数			総交付額
		直接経費	間接経費	
基盤研究（A）	1	7,580,000	1,950,000	9,530,000
基盤研究（B）	11	45,900,000	13,770,000	59,670,000
基盤研究（C）	77	99,600,000	29,700,000	129,300,000
挑戦的萌芽研究	9	10,700,000	3,210,000	13,910,000
新学術領域研究	1	1,900,000	570,000	2,470,000
研究活動スタート支援	1	1,000,000	300,000	1,300,000
若手研究（A）	1	6,600,000	1,980,000	8,580,000
若手研究（B）	27	33,600,000	10,080,000	43,680,000
奨励研究	3	1,500,000	0	1,500,000
計	131	208,380,000	61,560,000	269,940,000

(2) 平成26年度厚生労働科学研究費（厚生労働省）

研究事業名	件数			総交付額
		直接経費	間接経費	
地域医療基盤開発推進研究事業	1	3,500,000	250,000	3,750,000
難治性疾患等政策研究事業	1	20,000,000	6,000,000	26,000,000
循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策実用化研究事業	1	5,000,000	1,500,000	6,500,000
計	3	28,500,000	7,750,000	36,250,000

(3) 平成 26 年度エコチル調査委託事業精算金（環境省）

環境省委託事業名	件数			総交付額
		直接経費	一般管理費	
エコチル調査	1	89,761,271	12,727,375	102,488,646
計（見込）		89,761,271	12,727,375	102,488,646

(4) 平成 26 年度がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン補助金分配金（文部科学省）

研究事業名	件数			本学分配額
		各部署配分額	事務経費	
がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン	1	3,630,000	4,475,000	8,105,000
計		3,630,000	4,475,000	8,105,000

○ 後援会・アーカイブズ関係

1 兵庫医科大学後援会との連携

- ・学生課外活動援助、国試対策等補助、卒業記念品贈呈などの学生支援を行った。
- ・行事として後援会会員総会（6月）及び教員・保護者懇談会（6月総会終了後と11月）を開催し、終了後にそれぞれ懇親会を行った。その他、後援会役員会を年2回（5月と9月）開催し、9月の役員会終了後に大学役員が大学の現状説明を行った。
- ・保護者への資料配布や広報活動として、シラバスの配布（6月）や、会員名簿（6月）及び会誌「筍のたより」を年2回（6月と1月）発行した。
- ・大学から後援会と学生の保護者（新入生及び6年卒業生）あてに任意の寄付金募集を行った。後援会からは開学40周年記念事業募金に対して平成24年度から向後5年間で1億5千万円の寄付申込があり、昨年度に続き平成26年度も3,000万円の寄付が行われた。

2 兵庫医科大学アーカイブズ関係

- ・新教育研究棟の建設に合わせ、アーカイブズの内容等について学長が中心となり、兵庫医科大学アーカイブズ設置準備委員会（12月、2月）で意見交換が行われた。
- ・図書館内にアーカイブズ関係資料を順次収集、保存を行っている。

《兵庫医科大学病院》

○ 患者数

			対前年度
入院患者数	延患者数（在院＋退院）	306,551 人	102.5%
	1 日平均	839.9 人	102.5%
	平均在院日数（一般）	12.3 日	△0.4 日
	平均在院日数（全体）	12.7 日	△0.4 日
外来患者数	延患者数	649,681 人	99.4%
	1 日平均	2,415.2 人	99.8%

○ 平成 26 年度兵庫医科大学病院防災訓練

平成 26 年 9 月 26 日（金）震度 6 強の直下型地震の発生により、多数の負傷者が急性医療総合センターに搬送された場合を想定し、災害拠点病院として、局地災害が発生した場合の当院受入体制の訓練を行うとともに、現行の診療環境（急性医療総合センター・電子カルテ等）の検証を行うことを目的とした防災訓練を実施した。医師、看護師、メディカルスタッフ、事務職員、医学部学生（4 年生）約 220 名が参加した。

○ 市民健康講座

平成 26 年度実施の市民健康講座は次の通り。

講演日	講演者			テーマ	参加者数
4月9日	糖尿病・内分泌・代謝内科	医師	庄司 拓仁	なおる高血圧をみのがさないために	61名
4月23日	総合内科	医師	森本 剛	病院における有害事象	55名
5月14日	ペインクリニック部	医師	神原 政仁	带状疱疹後神経痛の治療	97名
6月11日	乳腺・内分泌外科	医師	今村 美智子	乳がんの早期発見と予防	51名
6月25日	循環器内科	医師	藤井 健一	下肢閉塞性動脈硬化症について	84名
7月16日	看護部 医療社会福祉部	看護師 ソーシャルワーカー	湯浅 真裕美 ソーシャルワーカー	子どもの虐待の発見と対応 ～病院で支える家族の絆～	17名
7月30日	炎症性腸疾患外科	医師	内野 基	ストーマのお話	38名
8月13日	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	医師	佐川 公介	のどの癌について	64名
9月3日	歯科口腔外科	医師	岸本 裕充	病院で入院する前には口腔のチェックを	36名
6月17日	看護部	看護師	吉井 ひろ子	うつ病支援と自殺予防 ～つながる・支える・いのちと心～	65名
10月8日	臨床遺伝部	臨床検査技師	三村 博子	染色体検査について	29名
10月22日	産科婦人科	医師	鏑本 浩志	家族性腫瘍	37名
11月19日	炎症性腸疾患内科	医師	樋田 信幸	大腸癌検診を受けよう！	54名
12月3日	腎・透析内科	医師	蓮池 由起子	気になる尿検査	53名
12月17日	呼吸器外科	医師	長谷川 誠紀	肺癌の外科治療	39名
1月7日	整形外科	医師	吉矢 晋一	ロコモティブ・シンドロームとは	47名
1月28日	放射線科	医師	安藤 久美子	形から機能までよくわかる脳MRI	62名
2月18日	血液内科	医師	日笠 聡	HIV感染症/エイズ	17名
3月11日	心臓血管外科	医師	光野 正孝	心臓血管外科のおはなし	67名
3月25日	呼吸器内科	医師	大搦 泰一郎	アスベスト関連疾患について	35名

○ 主な補助金

・ 救命救急センター運営補助金	99,947,000	円
・ 臨床研修事業に係る国庫補助金（医科）	58,438,000	円
・ 臨床研修事業に係る国庫補助金（歯科）	4,000,000	円
・ 文部科学省大学改革推進等補助金		
・ 未来医療研究人材養成拠点形成事業	32,24,000	円
・ 課題解決型高度医療人材養成プログラム共同事業	2,780,000	円
・ 臓器移植コーディネーター委託費	5,354,000	円
・ 阪神南圏域（西宮市・芦屋市） リハビリテーション支援センター運営委託費	488,000	円
・ 肝疾患診療連携拠点病院補助事業補助金	2,605,000	円
・ がん診療連携拠点病院機能強化事業補助金	8,000,000	円
・ エイズ中核拠点病院業務委託費	178,000	円
・ エイズ診療従事者等研修委託費	114,000	円
・ 兵庫県認知症疾患医療センター運営委託費	3,620,000	円
・ 認知症地域医療連携体制強化事業補助金	3,464,000	円
・ 周産期母子医療センター運営費補助金	2,644,000	円
・ 産科医等育成・確保支援事業補助金	653,000	円
・ HIV感染者等保健福祉相談事業委託費	950,000	円
・ DMAT カー整備事業補助金	20,000,000	円
合 計	216,459,000	円

《ささやま医療センター・ささやま老人保健施設》

○ 患者数

1) ささやま医療センター

入院患者数	50,838 人	(延数)
〃 一日平均	139.3 人	
外来患者数	72,541 人	(延数)
〃 一日平均	297.3 人	

2) ささやま老人保健施設

入 所	28,494 人	(延数)
〃 一日平均	78.1 人	
短期入所	4,473 人	(延数)
〃 一日平均	12.3 人	
通 所	9,591 人	(延数)
通所リハビリ 一日平均	39.3 人	
予防通所	2,356 人	(延数)
〃 一日平均	9.7 人	

○ 市民ふれあい健康教室

ささやまキャンパスBSC（バランスト・スコアカード）の4つの視点の内、顧客の視点により目標とした公開講座の企画・実施について、「市民ふれあい健康教室」と題して開催し、事前予約も含め多数の参加があった。

- ・第1回目 平成26年11月4日（火）

テーマ「薬の正しい使い方」講演者：畑中 主任薬剤師

- ・第2回目 平成27年3月18日（火）

テーマ「検体検査の標準化」講演者：中田 主任技師

○ マイクロバス「チーター号」による患者送迎の開始

BSC（バランスト・スコアカード）の顧客の視点の目標としていた、マイクロバスによる患者送迎について、平成27年3月2日より、JR篠山口駅東口～ささやま医療センターまでの間（1日9往復）の送迎を開始した。

○ JR西日本主催列車事故救済合同訓練への参加

平成26年11月10日（月）、JR西日本主催による「列車事故お客様救済合同訓練」に、篠山警察署、篠山消防署などとともに、ささやま医療センターから医師3名、看護師2名、事務員2名が参加した。JR福知山線古市・南矢代駅間において立ち往生していた大型トラックに快速電車が衝突し、多数の負傷者が車内に閉じ込められたという想定で、篠山地区の関係機関が緊密に連携を取り、人命を最優先にした迅速な初動対応及び対処能力の向上を図ることを目的に訓練が行われた。

《兵庫医療大学》

○ 平成 27 年度兵庫医療大学入学試験

平成 27 年度学生募集は、推薦入学試験（専願公募制・指定校推薦・公募制 A 日程・公募制 B 日程）、一般入学試験（前期 A 日程・前期日程・前期 B 日程・前期 C 日程・後期日程・大学入試センター試験利用入学試験前期日程・大学入試センター試験利用入学試験後期日程）を次のとおり実施した。

なお、平成 27 年度入学試験では、初めて本学会場以外に学外会場を設けた入学試験を前期日程および前期 B 日程において実施した。志願者数は全学部で大阪会場 151 名、岡山会場 47 名であった。

1) 推薦入学試験（専願公募制）

区分	薬学部	看護学部	リハビリテーション学部	
			理学療法学科	作業療法学科
募集人員	20	25	10	13
出願者数	52	184	122	48
受験者数	51	184	122	48
合格者数	20	26	12	13
入学者数	20	26	12	13

2) 推薦入学試験（指定校推薦入学制度）

区分	薬学部
募集人員	10
出願者数	7
受験者数	7
合格者数	7
入学者数	6

3) 推薦入学試験（公募制 A 日程）

区分	薬学部	看護学部
募集人員	15	10
出願者数	221	319
受験者数	220	318
合格者数	58	37
入学者数	25	20

4) 推薦入学試験（公募制B日程）

区分	薬学部
募集人員	10
出願者数	100
受験者数	100
合格者数	22
入学者数	14

5) 一般入学試験（前期A日程）

区分	薬学部	リハビリテーション学部	
		理学療法学科	作業療法学科
募集人員	35	20	17
出願者数	392	193	54
受験者数	380	193	53
合格者数	106	46	30
入学者数	31	25	19

6) 一般入学試験（前期日程）

区分	看護学部
募集人員	50
出願者数	425
受験者数	416
合格者数	118
入学者数	51

7) 一般入学試験（前期B日程）

区分	薬学部	リハビリテーション学部	
		理学療法学科	作業療法学科
募集人員	25	8	8
出願者数	213	153	62
受験者数	207	152	60
合格者数	46	23	23
入学者数	18	9	11

8) 一般入学試験（前期C日程）

区分	薬学部
募集人員	15
出願者数	186
受験者数	173
合格者数	25
入学者数	16

9) 一般入学試験（後期日程）

区分	薬学部	看護学部
募集人員	10	7
出願者数	156	75
受験者数	147	73
合格者数	29	8
入学者数	17	6

10) 大学入試センター試験利用入学試験前期日程

区分	薬学部	看護学部	リハビリテーション学部	
			理学療法学科	作業療法学科
募集人員	7	5	2	2
出願者数	61	63	40	21
受験者数	60	62	40	21
合格者数	12	11	9	6
入学者数	4	0	0	1

11) 大学入試センター試験利用入学試験後期日程

区分	薬学部	看護学部
募集人員	3	3
出願者数	4	11
受験者数	4	11
合格者数	3	5
入学者数	2	1

1 2) 合計

区分	薬学部	看護学部	リハビリテーション学部	
			理学療法学科	作業療法学科
募集人員	150	100	40	40
出願者数	1,392	1,077	508	185
受験者数	1,349	1,064	507	182
合格者数	328	205	90	72
入学者数	153	104	46	44

○ 平成 27 年度兵庫医療大学大学院入学試験

平成 27 年度大学院入学試験を次のとおり実施した。

1. 入学試験 I 期 (薬学研究科、看護学研究科、医療科学研究科)

区分	薬学研究科	看護学研究科	医療科学研究科
募集人員	3	8	8
出願者数	2	8	9
受験者数	2	8	9
合格者数	2	6	8
入学者数	2	5	8

2. 入学試験 II 期 (薬学研究科、看護学研究科)

区分	薬学研究科	看護学研究科
募集人員	若干名	若干名
出願者数	1	4
受験者数	1	3
合格者数	1	3
入学者数	1	3

○ 国家試験

第 100 回 薬剤師国家試験

区 分	新 卒			既 卒		
	受験者数	合格者数	合格率<%>	受験者数	合格者数	合格率<%>
本 学	96	60	62.5	125	70	56.0
本学昨年度	117	60	51.3	59	26	44.1
全 国	8,446	6,136	72.6	5,260	2,794	53.1

第 104 回 看護師国家試験

区 分	新 卒			既 卒		
	受験者数	合格者数	合格率<%>	受験者数	合格者数	合格率<%>
本 学	98	98	100.0			
本学昨年度	101	101	100.0			
全 国	55,015	52,547	95.5	5,932	2,324	39.1

第 101 回 保健師国家試験

区 分	新 卒			既 卒		
	受験者数	合格者数	合格率<%>	受験者数	合格者数	合格率<%>
本 学	98	98	100.0	2	2	100.0
本学昨年度	101	97	96.0	2	0	0.0
全 国	15,440	15,381	99.6	1,182	1,136	96.1

第 98 回 助産師国家試験

区 分	新 卒			既 卒		
	受験者数	合格者数	合格率<%>	受験者数	合格者数	合格率<%>
本 学	8	8	100.0			
本学昨年度	7	6	85.7			
全 国	1,976	1,975	99.9	61	59	96.7

第 50 回 理学療法士国家試験

区 分	新 卒			既 卒		
	受験者数	合格者数	合格率<%>	受験者数	合格者数	合格率<%>
本 学	46	45	97.8			
本学昨年度	45	45	100.0	1	0	0.0
全 国	10,360	9,233	89.1	1,675	719	42.9

第 50 回 作業療法士国家試験

区 分	新 卒			既 卒		
	受験者数	合格者数	合格率<%>	受験者数	合格者数	合格率<%>
本 学	43	40	93.0	1	0	0.0
本学昨年度	39	38	97.4	2	2	100.0
全 国	4,656	3,981	85.5	668	144	21.6

○ JBI KOBE Linguistic Translation Center (JBI 神戸日本語翻訳センター) の設置

アデレード大学との学術交流に関する基本合意書に基づき、「JBI KOBE Linguistic Translation Center (JBI 神戸日本語翻訳センター)」を設置した。

JBI (The Joanna Briggs Institute; ジョアンナ・ブリッグス研究所) 本部はアデレード大学に設置されており、世界の70以上の大学や研究所の連携ネットワークの本部になっている。この度、設置した「JBI KOBE Linguistic Translation Center」は、JBIの目的の1つである「エビデンスに基づいたヘルスケア実現」のために、ガイドライン作成に必要なSR (Systematic Review) 研究の知識を広く普及することを目的とした施設である。そのため、同センターでは、助産学領域のSR研究による英語のエビデンス情報を日本語に翻訳し、大学院生や地域の医療従事者にそのエビデンスが還元できるよう情報を発信する予定である。

○ 補助金

1) 平成26年度科研費

(単位：千円)

研究種目名	件数	直接経費	間接経費	交付額
基盤研究 (B)	2	4,900	1,470	6,370
基盤研究 (C)	23	25,200	7,560	32,760
挑戦的萌芽研究	9	11,900	3,570	15,470
若手研究 (B)	7	6,600	1,980	8,580
研究活動スタート支援	3	3,000	900	3,900
計	44	51,600	15,480	67,080

Ⅲ 財務の概要

《概要》

1. 概要

平成26年度は、事業計画との整合性を保ちつつ、兵庫医科大学、兵庫医療大学の教育・研究の充実、病院診療体制充実の目標に加え、西宮キャンパスグランドデザイン実施に向け、学校法人全体の持続的投資を可能とする適正な収支差額を確保した予算編成とすることを基本方針としました。既存予算の見直しと効率化等により財源の捻出を図ることで、

①西宮キャンパスグランドデザイン等の各種計画を着実に実行できる財務基盤の確立

②兵庫医科大学開学40周年記念事業の遂行（新教育研究棟の建設始動）

③新健診センターの新規開設

④兵庫医療大学全学部完成後の徹底した評価、自己点検の実施とそれに基づく更なる教育・研究の適正化、運営の効率化の推進

⑤ささやま医療センターの抜本的経営改善策策定と施策の着実な実行

という重点事項が掲げられ、当初予算がスタートしました。こうした中で、法人が今後計画している諸事業を実行していくためには、帰属収支差額を10億円以上維持することが不可欠という従来からの考え方のもと、最終的に帰属収支差額10.1億円の予算案を決定しました。

このような方針の下、今年度、西宮本院では、入院の患者数、診療単価、稼働率および手術件数が増加したものの、医療材料費、業務委託費、減価償却費等の経費増加の影響を受け、前年度比収支差額は3.1億円の増にとどまり予算未達となりました。

また、ささやま医療センターは、漸く再生に向けた取組みに明確な方向性が見られたものの、赤字基調は続き、予算比2.2億円のマイナスとなりました。

その結果、人件費を予算対比抑制すること、資産運用収入の増加策を実施したこと、および資産処分が次年度に繰越されたこともあり、決算は帰属収支差額が10.5億円のプラスと何とか予算目標を達成することが出来ました。

※ 財務情報（消費収支計算書、資金収支計算書、貸借対照表、財産目録）については、ホームページの「情報の公表」の事業報告書・財務諸表の財務諸表をご参照ください。

http://www.corp.hyo-med.ac.jp/guide/financial_statement/

以上

平成27年8月25日

総務部 総務課